

授業科目名	特修Ⅱ（絵画造形演習）	担当教員名	石田 晶大
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	選択 / 2単位（60時間）	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 通年（1-4期） / 年間開講数 1講座	特記事項	
授業の概要 及び 全体目標	幼稚園教育要領、保育所保育指針が示す領域「表現」のねらいと内容について理解させ、子どもの成長発達と造形活動の関わりについて学び、保育、教育の現場で役立つ実践力を身につけることをめざす。具体的には、今まで身につけてきた造形能力を生かし、造形に関する授業の応用として創作絵本を製作する。又、発展課題としてグループで話し合いや役割分担をして、協力して紙芝居、マリオネットの制作に取り組む（アクティブラーニング）。また、OHCなどの視聴覚機器を活用した模擬保育案作成し発表することができる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 子どもの成長と造形活動の関わり、役割について深く考えることができる。 自らの造形能力を生かして、 <ol style="list-style-type: none"> ①創作絵本を制作、読み聞かせることができる。 ②創作絵本の物語（ストーリー）を考えることができる。 ③創作絵本の絵コンテを作成することができる。 ④創作絵本に平面技法やポップアップ技法を生かす工夫をすることができる。 ⑤絵本の表紙をデザインし、製本することができる。 ⑥声の大きさや抑揚に留意し絵本の読み聞かせを工夫することができる。 ⑦他者の作品について意見や感想を述べ交流することができる。 紙芝居を制作し、演じることができる。 <ol style="list-style-type: none"> ①創作紙芝居作成のための計画書や試作品をつくらることができる。 ②創作紙芝居の物語（ストーリー）を考えることができる。 ③創作紙芝居の絵コンテを作成することができる。 ④創作絵本にいろいろな平面技法を生かす工夫をすることができる。 ⑤声の大きさや抑揚に留意し紙芝居の読み聞かせを工夫することができる。 ⑥他者の作品について意見や感想を述べ交流することができる。 グループでペープサートを制作し、仲間と協力して演じることができる。 <ol style="list-style-type: none"> ①グループで話し合っ企画、脚本、役割分担等を練ることができる。 ②企画書を基に材料、用具を生かして制作することができる。 ③背景にOHCなどの視聴覚機器を活用することができる。 ④声の大きさや抑揚に留意して発表することができる。 ⑤他のグループの発表で感想や意見を述べ、相互批評することができる。 OHCなどの視聴覚機器を活用した模擬保育案を作成することができる。 作品制作等の発表会を通して、自他の作品の良さを発見することができる。 		
テキスト	「幼児造形の基礎～乳幼児の造形表現と造形教材～」樋口一成著（明文書林）		
参考書・ 参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社） その他必要な資料はプリント配布。		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…授業準備状況、作品等の提出状況（20%） ・知識理解…レポートや配布プリントの記述（10%） ・造形的な技能…作品の密度や完成度、丁寧な取り組み（70%） 		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習：授業に関連する資料や新聞の記事などを集めさせ、スクラップさせる。事後学習：製作完了後に鑑賞会を実施し、相互批評を行う。 オフィスアワー：金曜日 授業終了後～17:30（図工研究室）		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション（授業のねらいと計画、評価、授業内容は参考作品等で解説）	1	
第2回	さまざまな平面技法、ポップアップの飛び出す仕組みの振り返り	1,2-(1)-④	
第3回	絵本制作Ⅰ 創作絵本制作ガイダンス／計画書・試作本の提出、進捗状況の確認	2-(1)-①, 2-(1)-②, 2-(1)-③	
第4回	絵本制作Ⅱ 発想・構想①：ストーリー（物語）の完成	2-(1)-①, 2-(1)-②	
第5回	絵本制作Ⅲ 発想・構想②：絵コンテの制作（平面技法とポップアップカードを取り入れて）	2-(1)-①, 2-(1)-②, 2-(1)-③	
第6回	絵本制作Ⅳ 発想・構想③：平面技法とポップアップカードで発想・構想の深化	2-(1)-④	
第7回	絵本制作Ⅴ 制作①：1～4頁目までは平面技法を中心に制作	2-(1)-④	
第8回	絵本制作Ⅵ 制作②：5～7頁はポップアップカードを取り入れて制作	2-(1)-④	
第9回	絵本制作Ⅶ 制作③：8～10頁は平面技法とポップアップカードを併用して制作	2-(1)-④	
第10回	絵本制作Ⅷ 制作④ 自作の絵本の完成	2-(1)-④	
第11回	製本についてのガイダンス 材料・用具の確認と製本手順、留意点の説明	2-(1)-⑤	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第12回	製本 ハードブック装丁を予定	2-(1)-⑤
第13回	創作絵本発表会Ⅰ(クラスの半数が発表) 自作絵本の読み聞かせ(教育の方法及び技術)と意見交流会(対話的、深い学び)	2-(1)-⑥
第14回	創作絵本発表会Ⅱ(クラスの残り半数が発表) 自作絵本の読み聞かせ(教育の方法及び技術)と意見交流会(対話的、深い学び) 全員の発表後、アンケート等を実施し、振り返りを行う。	2-(1)-⑥
第15回	レポート作成 テキスト「幼児造形の基礎」を読んで「造形表現の目標とねらい」について、自分の考えをまとめる。内容をレポート用紙三枚程度にまとめ、「アソビ・体験・本物に触れる」の視点の大切さを理解し、又教育実習の体験も踏まえながら、自分の考えを400字程度にまとめる。	1
第16回	オリエンテーション(授業のねらいと計画、評価等) 保育案の作成① 保育案の導入等の過程でOHPやOHCなどの情報機器を活用するプランを練る。	1,3
第17回	保育案の作成② 模擬保育を実践するための教材研究を深め、準備をする。	1,3
第18回	模擬保育 グループごとに実践発表し、意見交流を行う。	1,3
第19回	紙芝居の制作① 紙芝居についてのガイダンスとグループ分け	2-(2)-①
第20回	紙芝居の制作② アイデア・企画、役割分担等	2-(2)-①
第21回	紙芝居の制作③ 役割分担に沿って制作をすすめる。	2-(2)-②, 2-(2)-③, 2-(2)-④
第22回	紙芝居の制作④ 幼児の認識・思考、動きを考慮したものになっているかを確認し、制作を修正、完成させる。	2-(2)-②, 2-(2)-③, 2-(2)-④
第23回	紙芝居の制作⑤ 発表準備、リハーサル等	2-(2)-⑤
第24回	紙芝居の発表会 グループ発表と意見交流、相互評価	2-(2)-⑤, 2-(2)-⑥
第25回	ペープサートの制作① グループ編成、企画・脚本・役割分担等	2-(3)-①
第26回	ペープサートの制作② 材料、用具を生かして制作	2-(3)-②
第27回	ペープサートの制作③ 材料、用具を生かして制作し、背景などにOHPやOHCを活用した絵などを映すなどして工夫する。	2-(3)-③
第28回	ペープサートの制作④ リハーサル等をして発表準備	2-(3)-④
第29回	ペープサート劇の発表 グループ発表と意見交流、相互評価	2-(3)-④, 2-(3)-⑤
第30回	レポート作成 教育実習での体験を踏まえ、「めざす保育士、幼稚園教諭像」について、自分の考えをまとめる。	1